

運用コストの削減を目的としたホスト上のシステムのSaaS化を推進 既設HULFTと連携しスムーズなSaaS移行と運用コストの削減を実現

お客様の問題

- ① コスト削減のためホストの負荷軽減を検討
- ② SaaS連携でデータ転送・保管のコスト増
- ③ データ成形とSaaSへの取込作業が煩雑

期待される効果

- ① 既設HULFT利用でオンプレ連携の改修不要
- ② データの転送・保管・成形が一括対応
- ③ 運用面でのコスト削減も同時に実現



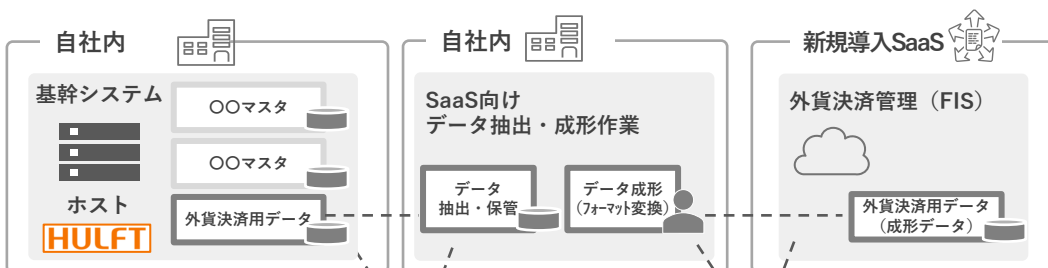
POINT

- ① SaaSの速やかな導入が可能
- ② データ一元化による二重管理回避、ミスが低減
- ③ 自動化によるタイムリーな連携を実現
- ④ 各種コネクタの提供による他業務への拡張可能

Before

手作業による移行作業などが発生

オンプレミスからSaaSへの移行を行うには新たなシステムの構築や手作業が発生



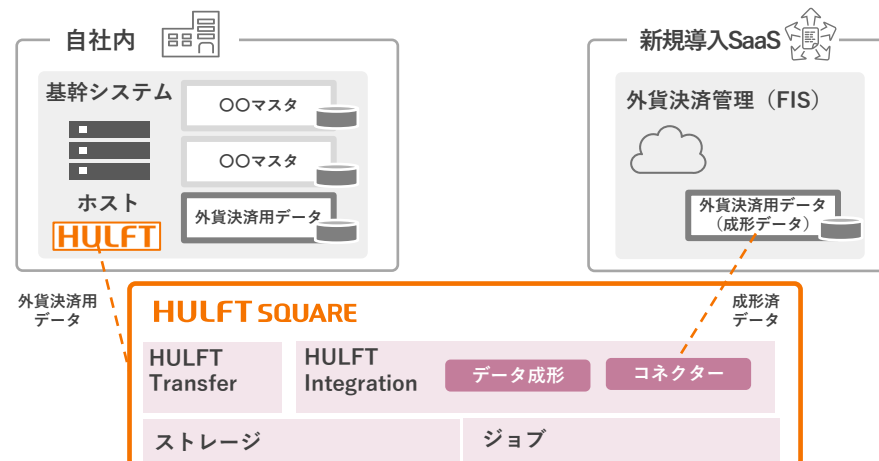
新たにデータ転送、保管の仕組みを構築
開発・運用コスト増

SaaS向けデータ成形や取込作業が発生
対応工数とヒューマンエラーも課題

After

移行作業を自動化

オンプレミスシステムとSaaSのデータ連携が可能、
最適化によるシステムコスト・運用コストが削減



堅牢なプライベートクラウドとAWSをハイブリッド活用

150の信用金庫に対して安全で柔軟なデータ分析を可能にするサービスを提供

お客様の問題

- ① 信用金庫が個別にデータ活用基盤を構築することは困難（コスト面・運用面等）
- ② 情報セキュリティの観点から独自にクラウド活用を推進することも難しい

導入効果

- ① 150の信用金庫のデータ活用基盤を構築し、各行が利用することにより、コストや運用面の負担を軽減
- ② プライベートクラウドを利用することで情報セキュリティ対策を実現



POINT

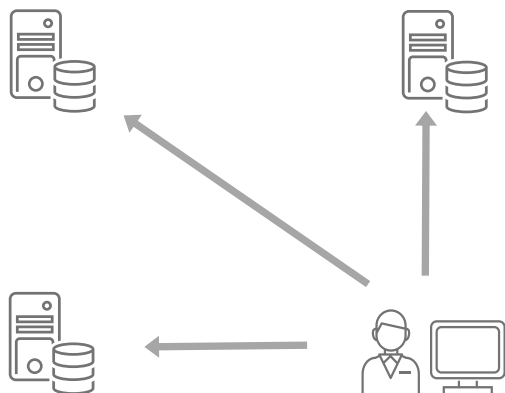
- ① DataSpiderを活用しローコードでSnowflakeへ自動連携しデータ活用基盤を実現
- ② DataSpiderはGUIの操作性を評価される
- ③ FISCの定めるセキュリティ基準を満たしつつ、Snowflakeを利用した柔軟なDWH・DMの構築を実現

Before

個別の信用金庫でのデータ活用基盤の運用

各信用金庫での活用や運用は負担が大きい

各システムに情報が分散されており、分析等活用が困難



After

各信用金庫が共通でデータ活用基盤を活用（センターでの集中運用）

各信用金庫が共通基盤を使用することでコストを削減

各クラウドの優位性を活かし、情報セキュリティ対策と柔軟なデータ活用を両立

